



伊豆半島はプレートの境界で地下にマグマが多いです。だから地下からよく温泉が湧くので、伊豆半島では温泉が有名です。伊豆半島は元々離島でしたが、プレートの移動と火山の噴火を繰り返し今の静岡県にぶつかってできました。長岡中に斜交層理があります。それは昔、浅い海だったという証拠です。

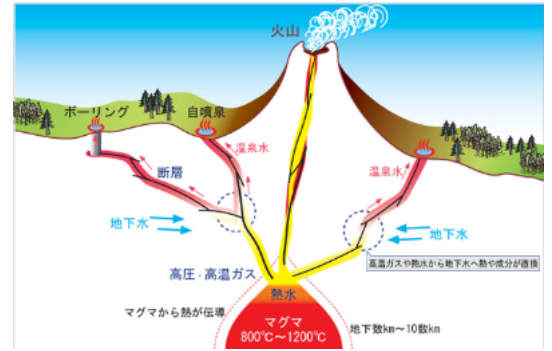


伊豆長岡温泉 (弘法の湯)



【長岡に温泉が多い理由とは…?】

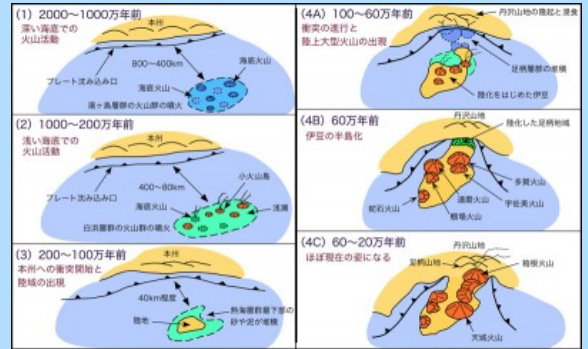
長岡に温泉がよく湧くのは、火山の噴火が多いからです。噴火して地下から温泉がわきます。温泉が多いのは半島全体が火山の影響を受けているので、いたるところで温泉が湧き出る環境だからです。



【衝撃!! 伊豆半島は昔〇〇だった!?!】

フィリピン海プレートの上にてきた海底火山や火山島はプレートとともに北に移動し、やがて本州に衝突して現在のような半島の形になりました。つまり伊豆半島は昔は離島だったということです。

(伊豆半島のでき方)



長岡中の斜交層理



【斜交層理って一体何??】

水流や風によって運ばれた砂粒が、移動方向に傾斜した面に沿って並び、次々に形成されることを斜交層理と言います。斜交層理のレキがある場所は昔浅い海だったということになります。

まとめ・感想

斜交層理や、プレートの動き等、長岡がどのような土地なのかが分かりました。